

約 300 年前 北限の綿産地である亀田地区で

生まれた伝統織物です。



『亀田縞（かめだじま）』の特色は手触りの良さと
藍（インディゴ）で織られた美しい文様です。

亀田町はかつて新潟平野を流れる信濃川、阿賀野川に囲まれた農村地域で、
亀田縞は、その農村衣料として生まれました。

この地域は泥田に覆われ、泥の中を泳ぐように苗を植え、冷たい水に
腰までつきりながら収穫をする、という過酷な農作業を、この亀田縞が
支えたという歴史と実績があります。



どこまでも交わることなく永遠に続く直線は、末永い幸せと繁栄を
願う吉祥の柄です。亀田縞の縞柄には、身に着けた人の永遠の幸せ
を願う想いが込められています。

特 徴

最初に糸を染めて縞を作る先染綿織物

ワッシャー加工で味わい深いシワ加工

肌ざわりも良く、繰り返し家庭洗濯も可能

洗うほどにしなやかさを増す素朴な風合い



Otafukuwata
since 1840